



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	23,422.21	-39.73	-0.17	-0.50	18.52	19,762.60
NASDAQ	6,750.94	0.89	0.01	-0.20	25.41	5,383.12
日経225	22,681.42	-187.29	-0.82	0.63	18.66	19,114.37
上海総合	3,432.67	4.88	0.14	1.81	10.60	3,103.64
滬深300 (CSI300)	4,111.91	36.01	0.88	2.99	24.22	3,310.08
ハンセン	29,120.92	-15.65	-0.05	1.81	32.36	22,000.56
H株	11,745.81	1.27	0.01	1.24	25.02	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.8%高と続伸、本土市場は1.8%高と反発

香港市場ではハンセン指数が週間で1.8%高と続伸した。世界的な株高基調が続く中、IT株や金融株などが上昇相場をけん引。利益確定売りが上値を抑える場面もあったが、相互取引を通じた本土からの資金流入などが相場を支え、ハンセン指数は7日に07年12月以来の高値を更新。9日には終値ベースで9年11カ月ぶりに29000ポイントを突破した。本土市場では上海総合指数が週間で1.8%高と反発した。週初から堅調な展開が続き、週末まで5日続伸。10日には終値で15年12月以来1年11カ月ぶり高値を更新した。

今週の展望:香港市場は高値圏でもみ合いか、テンセントの決算発表に注目

香港市場は高値圏でもみ合いか。NY市場でダウ平均が税制改革の不透明感を背景に9週ぶりに反落したことは不安材料ではあるが、引き続き中国本土や海外からの資金流入が相場を支えそうだ。香港の17年のGDP成長率見通しが3.5%から3.7%に引き上げられたことも好材料。今週7-9月期決算を発表するテンセントにも注目が集まる。一方、本土市場は上値の重い展開か。上海総合指数が5連騰で3400ポイントを突破し、高値警戒感が意識されそうだ。外資規制の緩和で銀行銘柄には引き続き売り圧力が強まりやすい。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	169.40	21.26
2 吉利汽車 (00175)	26.25	8.47
3 中国平安保険 (02318)	75.80	7.21
4 銀河娛樂 (00027)	57.10	5.84
5 Link REIT (00823)	68.85	5.76
6 ヘトフヤ付 (00857)	5.57	5.49
7 テンセント (00700)	385.40	4.73
8 華潤電力控股 (00836)	15.40	4.48
9 恒安国際集団 (01044)	78.90	3.75
10 ワーフ (00004)	77.45	3.61

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 キャセイ・パシフィック (00293)	12.34	-6.52
2 華潤置地 (01109)	22.60	-4.64
3 招商局港口 (00144)	22.75	-4.61
4 新世界発展 (00017)	11.60	-3.17
5 中国蒙牛乳業 (02319)	20.70	-2.82
6 中国海外発展 (00688)	24.55	-2.19
7 恒隆地産 (00101)	17.60	-2.11
8 太古A (00019)	76.25	-1.49
9 長江和記実業 (00001)	97.95	-1.21
10 東亜銀行 (00023)	33.60	-1.03

▼今週の主なイベント

- 11月14日(火)
 - 【中国】鉱工業生産、小売売上高(10月)、固定資産投資(1-10月)
- 11月16日(木)
 - 【香港】失業率(8-10月)

▼今週の期待材料

- ◆香港の7-9月期GDP成長率は3.6%、通期見通しを3.5%から3.7%に上方修正
- ◆中国本土から香港市場への資金流入が継続、相互取引通じた先週の純流入額は約190億HKドルに
- ◆香港市場でIPO銘柄が活況、市場全体の売買代金も連日で1000億HKドル超え

▼今週の懸念材料

- ◆14日に中国の10月の主要経済指標発表、予想下回る内容なら景気の減速懸念が強まる可能性も
- ◆中国の10月の新車販売台数は2.0%増、乗用車はわずか0.4%の増加にとどまる
- ◆中国政府が金融業界の外資規制緩和を発表、銀行銘柄には引き続き売り圧力強まる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 裕元工業 (00551) : 10月の純売上高は10%増の7.8億米ドル、1-10月は7%増
- ☆ テンセント (00700) : 15日に7-9月期決算を発表、市場予想は52%増益
- ☆ 石薬集団 (01093) : 15日に7-9月期決算を発表、市場予想は26%増益
- ☆ 華潤置地 (01109) : 10月の不動産販売額は7%増の121億元、販売面積は55%増
- ☆ 舜宇光学科技 (02382) : ハンセン指数構成銘柄に新規採用、12月4日付で効効
- ☆ 中国建筑国際 (03311) : 1-10月の新規受注が24%増加、通期目標の90%を達成
- ★ 昆侖能源 (00135) : 12月4日付でハンセン指数構成銘柄から除外
- ★ 深セン控股 (00604) : 10月の不動産販売額が62%減少、販売面積は68%減
- ★ 華能新能源 (00958) : 10月の発電量は3%減の174万MWh、1-10月は14%増
- ★ キャセイ・パシフィック (00293) : 12月4日付でハンセン指数構成銘柄から除外

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。